

健康医療分野でのEBPMの可能性に関して①

根本 昌彦(ねもと まさひこ)

元神奈川県CIO・知事補佐

神奈川県 ヘルスケアニューフロンティア本部顧問(次世代社会システム担当)

鎌倉市 政策創造委員 他

現状

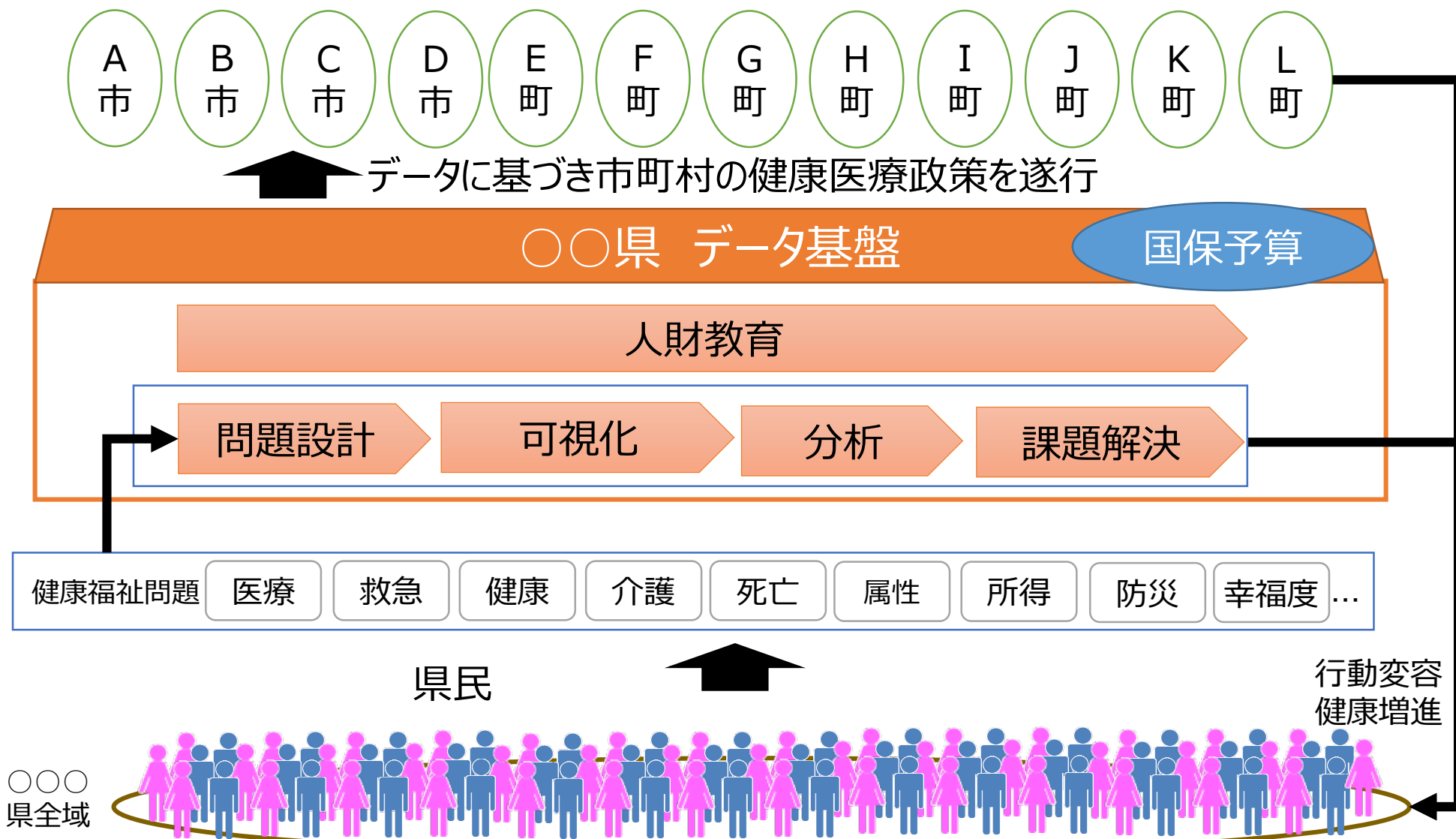
- ①エビデンス＝データに基づくという発想が無い、必要が無かった
- ②アウトプットとアウトカムの違いが無い
- ③調査設計がグダグダで、民間調査機関・シンクタンクにカモにされる

第一歩

超高齢化時代となり、健康利用分野の財政出動が増え、危機意識

- ①都道府県は国保一元化に伴いデータ分析に関して前向きに？

健康医療分野でのEBPMの可能性に関して②



健康医療分野でのEBPMの可能性に関して③

必要なこと

- ・人財育成(①問題把握→戦略策定→調査設計)
- ・データ分析そのものは外部機関委託でOK
- ・人財育成は10か年計画で進める覚悟の必要
- ・CIOとは別にCHDO(ヘルスケアデータ責任者)の設置

国保の一元化に伴うデータ利活用以外でのEBPMの可能性

- ・官民データ推進基本計画の中心は健康医療分野となる
- ・協会健保組合各支部とのデータ連携
- ・地域包括ケアに基づく医療・介護情報の統合化
- ・次世代医療ICT基盤 代理機関との連携
- ・民間PHRとの連携 他